



# 三条北ロータリークラブ週報

例会日 2011. 5. 17 累計 No.1174 当年 No.40



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:[north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:レイ・クレンギンスミス  
地区ガバナー:東山昶也(高田RC)  
三条北RC会長:小林繁男  
三条北RC幹事:西村 護  
三条北RCSAA:岡田大介

## ■出席状況

- ・本日の出席:69名中39名
- ・先々週の出席率:69名中52名  
75. 36% (前年同期74. 65%)

## ■本日の行事:卓話

「製品安全対策優良企業  
表彰を受賞して」

## ■本日のゲスト:

株式会社相田合同工場  
代表取締役 相田 聡 様

## ■本日のビジター:

巻 RC 加藤政夫さん  
三条南 RC 鈴木田彦さん

## ■先週のメイクアップ:(敬称略)

- 5月10日次年度会報委員会  
米山キクエ、笹原壯玄  
丸山達夫、横田加代子  
佐藤秀一
- 12日加茂RCへ 岡田 健
- 12日三条東RCへ 中條耕二  
安田貞夫、高橋彰雄  
石川勝行

## ■本日のメニュー: 1,096kcal

イカとオクラの山葵和え	11
御造里	75
鱈の塩焼き	152
鯖オランダ生姜あん	305
御飯	168
御味噌汁・御漬物	125
バナナプリン	260

## ◆5月の誕生石

【アメジスト・翡翠】  
幸運、幸福、希望  
長寿・健康

## 会長挨拶:小林繁男会長



久しぶりにいつもの会場での例会です。

本日は相田合同工場の相田社長さんより、卓話をしていただくことになっております。よろしくお願いたします。

今年の三条祭りは土・日曜に重なり人出も多かったようです。

私も孫を連れて八幡さまに行きました。

20年ほど前だと思いますが、大名行列が出ないという危機がありました。その時に私も所属していたエコノミークラブ、TMクラブ、青年会議所の3団体が中心となり、現在の若衆会を作りました。初代会長は野崎勝康さんでした。

若衆会が出来る前は、訓練校の生徒達が行列に参加していたのですが、学校のある日に休んでまで参加出来ないということでした。若衆会が組織化され現在に到っていますが行列を見ていたら当時が思い出され懐かしくなりました。私の子供達も孫達も、祭りを引き継いでいくんだなと実感しました。

又、次週は星野年度の家庭会合がありますが、会場を提供いただく皆さんありがとうございます。

## 幹事報告:西村 護幹事



・東山ガバナーより

東日本大震災に対する義援金の報告と御礼

5/10現在総額 24,659,797円ご協力を頂き日本ガバナー会へ送金しました。

ガバナー会としては

①災害遺児の教育環境支援プログラム

②ファイブフォーンプログラム 以上2点の実施を検討しています。

・地区大会実行委員長より 地区大会記録誌送付について

・三条南RCより

市内4RC次年度会長幹事社会奉仕委員長会議開催のご案内

日時 平成23年5月20日(金) 12:00~

会場 三条ロイヤルホテル

・米山記念奨学会より 感謝状送付の件

米山功労者 外山晴一(7回)・山本 賢(4回)

笹原壯玄(4回)・柄沢 憲司(2回)

丸山正男(1回)・西山 齊(1回)

功労クラブ20回

・にいがた災害ボランティアネットワークより 公開企画のお知らせ

日時 平成23年5月29日(日) 13:00~

会場 燕三条地場産センター リサーチコア6F

## 理事会報告：第11回

開催日：平成23年5月17日（火）11:30～12:30

開催場所：三条ロイヤルホテル 出席数：13/14（内委任状4）

出席者：小林繁男、星野義男、斎藤 正、西村 護、山中 正、佐藤義英、岡田大介  
石川勝行、渋谷義徳、澁岡 茂、石川友意、米山忠俊、石川一昭

協議事項：1. 「社会奉仕事業」決算報告 承認  
2. 「育子からの手紙」上映会、協賛後援依頼の件 承認  
協賛金としてマイルBOXより1万円（2口）支出  
3. クールビズ実施の件 承認  
6月第一例会より実施（ノーネクタイ）

■ロータリー財団BOX：17日現在累計266,000円

■米山奨学BOX：17日現在累計386,000円

■ニコニコBOX：17日現在累計894,200円

加藤政夫君（巻RC）先月4月16～17日の売り出しにお顔を見せてくださった方々大変ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

鈴木圀彦君（三条南RC）久しぶりのメイクアップです。三条祭りは晴天に恵まれて無事終わり良かったです。

馬場直次郎君 このところ寒暖の激しさに身体がついていかれそうもありません。3～4日前にとうとう風邪を引いてしまいました。今日ようやく治ったので出てきました。皆さんもどうぞお身体お大事に。

笹原 壯玄君 立夏も過ぎ、若葉も吹き出て本格的活動の季節です。皆さんの顔も澁刺として見えますね

石川 友意君 4月23日の黒川伊保子講演会では会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。相田社長さんの卓話に感謝して!!

石川 一昭君 野球部より結果は発表するまでもなく惜敗でした。今後に向かって邁進する決意です。野球部ファイト!!

丸山 勝君 BOXに協力

丸山 達夫君 //

今井 克義君 不動祐理プロの50勝に!!



\* 4月のコメント賞は横田加代子会員です。

## 本日の行事：卓話

紹介：渋谷 義徳会員

今日はプログラム委員会の木宮会員の紹介で相田様から卓話をしていただきますが、紹介は私にするようにと仰せつかりましたので代わってさせていただきます。

私の会社は、相田社長さんに助けられました。

現在「製品安全」の取扱説明を中心として色々ひろめておられます。刃物を扱っている三条の地場でも鍛冶集団を中心として全国にブランドを発信する為には三条の製品は安全・安心、誤って使うことのない様に丁寧に指導するという心意気でされました。

相田さんは鍛冶が専門ですが、先日の新潟日報、経済面に詳しく掲載されました。

若手のリーダーとして市内でも同好の士を募ってセミナーも開いていられます。

並々ならぬ努力で「経済産業大臣賞」を受賞されました。消費者庁にも繋がりますので作るだけでなく、売る、使うという立場にたって考えなければ行けない。と言うようなことを今日お話し頂けるのではないかと思います。よろしくお願いたします。

## 「製品安全対策優良企業表彰を受賞して」



(株)相田合同工場 代表取締役 相田 聡 様

三条で鍛冶を生業としております相田と申します。今日は貴重な御時間を頂きまして、「製品安全優良企業表彰」のご説明と、受賞した弊社が今どうなっているかということをお話しさせていただきたいと思っております。

青年会議所出身ではありますが、10年ほど、こういう会から遠のいておりますので緊張しておりますがご容赦いただきたいと思っております。

三条の伝統的な鍛冶屋ですが昨年創業80年を迎えました。その殆どの時間の中で三条の金物卸の皆様のお力をお借りして全国に商品を提供させていただ

いておりました。

平成に入り世の中が大きく動きだし、当地にも刃物の取り扱い業者の不景気が参りました。

バブルの頃を思い出していただくと、商売は楽というか、何でも売れる状況だったと思っております。

実は私共はバブル最盛の頃に不景気がやって来ました。何故か後で考えました。市内の間屋さんにも売ってもらうには「鋏」は難しい商品だった様に思えます。いらぬ労力をかけて売るよりは売れる物を売った方が良いという中で置いて行かれた様な感じがします。

「村の鍛冶や」という唱歌がありますが、正に「しばしも休まず」というような物づくりをしています。鋏の現状、実態は歌の通りです。三条でも川を渡り、燕の方に入ると鋏の形が違うように私共でも4,000品ほどあります。4,000種類鋏があることとなります。戦後、昭和21・22年頃の統計では全国で9,800軒位の野鍛冶がありました。北海道から、九州沖縄まで9,800人の鍛冶屋がいて9,800とおりの鋏があった。村の鍛冶屋は其の集落にあった土地土地で商品を提供していた訳です。

間屋さんから全国に広めてもらいましたが、バブルの頃には面倒な商品ではなくてもっとわかり易いものは無いのか。流通も変わりホームセンターの登場がある中で専門性だけを求める商品は動きにくいということでした。私共もこのままでは売り上げが落ちる。平成10年頃からホームセンターにも商品を提供しはじめました。平成13年頃には売り上げの半分位はホームセンター流通でした。ところがその頃に私共が想定していなかったことが起き始めました。クレームの発生です。この辺は畦塗りも出来るような鋏ですが、関東では形も違います。使い方も違います。又、こちらでがちがちに楔を打ち込んだ物でも、山を越えて関東に行き、空調の効いている店頭には並んだら、楔が抜ける。

間さんに納めていたときは、刃だけを製品として納めていたのでそういう、クレームはなかったのですが、段々クレームが増えてきました。

バイヤーの方とも相談したりしましたが、解決策は見つかりませんでした。

そんなとき、会社の保険を取り扱っている方から「使い方をもっときちんと伝えたらいいんじゃないか」「木が痩せるのは当たり前だから、使うときに楔を打つとか、水につけてもらうとかすれば」とアドバイスをもらいました。ではどうすればいいのか、社内で考えましたが、社員は職人です。機械に向かう、火に向かうという仕事は得意ですが、お客さんが何を求めているか、何処で何が起きているかを考えて、製品に具現化する事はなかなか出来かねました。

そこで先程ご紹介いただきました渋谷社長さんの三条印刷の担当の方にシールか何かで鋏に表記できないかと相談を持ちかけました。

今日、鋏を持ってきましたが、これは小林会長さんの会社で作っている鋏で頭の部分を分けて貰って台紙を作って販売しています。売り場で目立つパッケージとすることで考えていましたが、事故無く正しい使い方、クレーム無く使っていただくことが出来るかと考えたときに、小さい台紙に書き込むことは無理だと気付きました。そこで三条印刷さんからお知恵をお借りして、パッケージを変えて販売しています。

今日、鋏を持ってくるには無理がありましたので持ってきませんでした。この様なことをやっています。

実はここに到るまでに頭の中を大きく変えなければいけませんでした。

私達、鍛冶屋は切れる物安全に安心して使ってもらう事を大前提に作っています。使い方はお客様の部分、私達が言えない。とずっと思っていました。いい物さえ作ってお渡しすれば後はお客様の部分。というように頭が固執していました。

しかし、この商品が何かということをしちゃんと伝えないと、正しく、安全に使うということが導き出せないということにやっと気がつきました。

「筥を掘る鍬」というオーダーがあった時に先程の畦を塗るような鍬でしたら、刃がおれたり飛んだり、怪我をしてしまいます。「筥を掘る専用の鍬がありますよ。重量がありますので重いので持ち運びには注意してください。刃が鋭利なので注意してください」と言うことを今までは問屋さんには言わなくても分かっている事で済みました。

しかしそうではなくて、私達が持っている情報を製品にくっつけてあげることで成立すると言うことが分かりました。

流通が変わってしまっていて、問屋さんには納めて、問屋さんがお店に説明して納めて、お店で接客して説明してお客さんに売るという部分が寸断されてしまっています。

ホームセンターやショッピングセンターもそうですが、セルフ販売形態になってしまっていて、製品に対しての情報が人伝えに行くことが無くなった事に気がつきました。

こういう中で、今までペタペタ貼っていたシールに目的を持たせ情報を載せました。

最初にアドバイスを戴いた保険屋さんから平成19年から経済産業省が「製品安全優良企業」という賞をやっているから、全国のレベルとどうなのか、申し込んでみたらと言われました。

職人の会社なので、社長が言うから何となくやらされているという雰囲気は漂っていたのですが、もしも賞がもらえたら、喜んでくれるのではないかという一念で、エントリーシートに記入しました。

記入する項目が4つありました。

- ・安全な製品を製造するための取り組み
- ・製品を安全に使用してもらうための取り組み
- ・出荷後に安全上の問題が判明した際の取り組み
- ・製品安全文化、構築への取り組み

これらの項目に、今までやって来た事をそれぞれ記入し第4回にエントリーしました。

結果、私達が一番吃驚しましたが、中小企業部門・製造輸入社企業部門の全国第一位を頂くに到りました。

特別のことをやったのではなくて、常日頃やっていたことを第三者から見ても、自分たちの気付かない事を教えてもらい、変えていただけです。

三条は物作りの町です。私共ちっぽけな鍛冶屋です。三条には名だたる大企業の製造業者の方も多くいらっしゃるので「町を挙げて」は語弊があるかも知れませんが、私共がたったこれだけのことをやったことで賞を頂いたのですから、「三条の商品は正しく使ってもらえば凄い機能性を発揮していい道具」です、又流通の方にはいい物を販売しているということを発信してもう一回三条の良かった頃をこの町に実現できないか、この三条、燕地域の製造、流通業が世の中に出ていくきっかけになればと思います、貴重なお時間を頂き私共のやったことを紹介させていただきました。たわいもないことの積み重ねでやって来ましたので、先日も新潟日報さんにも取り上げてもらいましたが、かえってこちらの方が萎縮します。

この賞の審査委員長で消費者庁で製品安全をアドバイスされている明治大学の向園先生から後日談で色々お言葉を頂きましたが、その中で私が感銘を受け、今後も取り組んでやっていこうと思えるきっかけとなった言葉を紹介したいと思います。

「製品安全を切り口にした地場産業振興のモデルケース」だと言ってくださいました。

「業界を越えた他業界、自治体等と連携を図って、この取り組みを是非発信してください。これが伝統産業の負債活性のツールになるかも知れません」

この言葉本当に心強く思いました。地元にいると鍛冶の業界は不景気を脱するという感じではないですが、著名な先生から「伝統産業の復活のプロセス」という言葉に感銘を受けました。

拙い話で恐縮ですが以上とさせていただきます。ありがとうございました。

## マルチプルPHF 伝達





中小企業 製造事業者・輸入事業者部門  
**株式会社相田合同工場**

<http://www.kuwaya.com/>



- 事業内容：農具、鋏類、鍛造諸刃物の製造および販売
- 所在地：新潟県三条市 ■設立：1930年
- 代表者：代表取締役社長 相田 聡
- 従業員数：17名(2010年10月現在)



受賞企業コメント

弊社は伝統的な地場産業の担い手として、昭和5年の創業以来一貫して農具を専門に製造してまいりました。製品は道具であるため使用者の心地良い使用感を充足させ、また親子で長く愛用されることを念じ製品安全、品質の向上に努めております。特に近年は使用者が家庭菜園ユーザーに広がったことによる誤使用・誤購買防止の観点から、「良いものづくり」だけでなく、「正しく使っていただく」ための表示の見直しに取り組んでまいりました。製品ラベルの内容見当や視認性の確保、取扱説明書の作成・添付などは業界に先駆けた取組みであり、現在も進行中であります。同時に、伝統的な地場産業の商慣習の中で製品安全対策は事業者共通の課題と位置づけ、地元自治体の協働による製品安全セミナー・シンポジウムを開催する

に至りました。一方で商品流通やインターネットなどによる情報伝達経路の変化で、ユーザー様の声はより近いものとなりました。さまざまに寄せられるお問合せを地元で居ながら解決することは難しく、試行錯誤の結果、全国各地で「鋏(くわ)修理相談会」を開催することとなりました。現在では他社品を含めた修理対応を実施しながら、鋏や農具に関する使用実態等の情報を収集しています。道具の作り手として製品安全の取組みは「正しく楽しく使う道具文化」の醸成でもあり、作り手が持ちえる情報は使い手が安全に使うための情報だという気付きは大きな産物でした。このたびの受賞を機に、更なる安全品質の向上を目指し、多くの皆様にご愛用いただける「鋏」作りに努めてまいります。

受賞ポイント

1 表示類の改善・添付による誤購買、誤使用の防止

取扱説明書や製品ラベル等の表示類を改善し、製品に添付(業界先駆けての取組み)。用途機能や誤使用防止を訴求する内容を表示している。

2 地場産業の製品安全文化の醸成

地元自治体との協働により、製品安全が産地にもたらす影響等をテーマにした製品安全セミナーを企画・開催し、地場産業の製品安全文化の構築・醸成を図っている。

3 修理イベントを通じた顧客の声の収集

全国各地の農機具販売店、ホームセンター等で修理イベントを開催し、他社製品も含めて修理対応を実施。農機具に対する顧客の声や使用実態に関する情報を積極的に収集している。

担当者のことば



弊社が製品安全に取り組むきっかけは「危険と思われる刃物を、正しく安全に使っていただくにはどうしたら良いか?」ということでした。商品ラベルの見直しや、PLアドバイザーによる社内の勉強会、取引先の方を対象にした製品安全の講演会などを行ってきましたが、今回、日ごろの取組みを第三者の方から客観的に評価していただける良い機会と思い、「製品安全対策優良企業表彰」に応募させていただきました。しかし、過去の受賞企業は大手の企業が多く、私どものような小さな会社では難しいのかなとも思いましたが、逆に少人数だからこそ、創業80年を迎える今年度に受賞できればとの思いで、一致団結して準備することができました。二次審査、ヒアリング調査と審査が進むにつれ、社員のモチベーションも上がり、製品安全に対する意識も確実に変化していきました。また、審査員の皆様から頂戴しましたコメント等は、弊社の今後の取組みにプラスになるものでしたし、表彰式では他社の取組みなども聞くことができ、準備期間も含めて大変有意義な時間を過ごすことができました。このたびの受賞を謙虚に受け止め、ここからがスタートという思いで全社員一丸となり、更なる製品安全の向上に努めていきます。



## 三条北ロータリークラブ会員企業紹介

「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である(ポール・ハリス)」  
 会員同士が会員企業の職業分類を知ることにより、会員の親睦、相互扶助、職業奉仕にこの「企業紹介コーナー」がお役に立つことができれば幸いです。

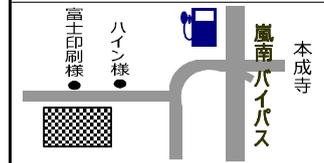


### ■会員事業所紹介 ●青木省一会員 (新世代奉仕およびライラ)



■事業所名	株式会社 アオテツ
■職種分類	鋼材販売
■住所	〒955-0823 三条市東本成寺27-29
■TEL.	0256-34-6711
■FAX.	0256-34-7086

#### アクセスマップ



#### こんな仕事をしています

鋼材販売卸  
 ・鋼管、ステンレスパイプ専門  
 ※企画段階から参画し鋼管を制作、任意のサイズに切断加工して納品します  
 ・需要家に直接納品  
 ※自動車関連1/3、家電関係1/3、その他1/3

#### 本社全景



#### 我が社のPRポイント

生産工場の基礎材料の部分を製造しています。供給責任を果たすことを絶対使命としています。

#### 切断加工工場



#### ■加工工場と隣接する本社予定地



#### ■月に100万本カットする各種切断マシーン



#### ■青木会員の哲学(鉄学)

が込められた  
社屋看板



「国家は鉄なり！」取材の冒頭青木さんから聞きした言葉です。青木さんの経営信条は「材料の仕入れで儲かったとか儲からなかったとかでは無く、工場が持つその技術力の付加で物の価値は決まる。先ずは自分の会社の基礎を作り広げて行く。自分の技術力を高め、価値を上げることが経営を安定させる」。さすが「鉄」を扱っておられるだけあり、ビシッと信の通ったお話を伺いました。因みに 青木さんが会社を起業された時からの哲学(鉄学)は「天の恵み、大気の恵み、地の恵みに支えられたアオテツ」だそうです。雑談の中でアオテツさんは日銀短観の資料を提出する全国1万社/1社だとお聞きしました。国の方向を示すお手伝いもされておられるようです。因みに1年に1回くるお礼は風月堂のお菓子だそうです。(笑)